

(別添7)

事業所名 グループホームしらゆり竹田

2 目標達成計画

作成日: 令和3年8月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	職員は介護をしてあげているという、あたかも立場が上位であるかのような意識を持たずに利用者暮らしを共にするように心がけているが、その時々状況によっては職員側の意見を一方的に押しつける場面が見られたり、利用者の思いの把握、喜びや悲しみの共有に努める時間が疎かになっている。	利用者が孤立して寂しい思いをしたり、意思の表出を我慢させることがないよう、職員は利用者とのコミュニケーションを図りながら、共に暮らす者同士として和やかな関係を築く。	①介助時の声かけ以外でも、利用者積極的に日常会話を交わすなど、コミュニケーションの機会を増やす。 ②レク時や余暇時には利用者の輪の中に入り、共に時間を過ごすことで信頼関係を高める。	6ヶ月
2	24	利用者一人ひとりがどのような暮らしをしてきたか、今はどのような暮らしを望んでいるのかなど文書やデータとして記録が不十分であり、生活歴を根拠とした支援方法が実施できていない。	利用者それぞれの生活歴を把握できるよう文書化(データ化)し、それを職員全員が共通認識した上で支援に生かせるようになる。	入所時に得た情報と合わせ、施設で暮らしていく中で本人が発した言葉や、職員が日々の関わりの中から得た情報などをヒントとして、フェイスシートに分かりやすく記録する。	9ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。